巻末資料

巻末資料１　情報提供会開催のチラシ

林野庁業務　シカによる森林被害緊急対策事業（シカの行動把握調査等及び捕獲従事者等支援業務）

情報提供会 in 京都

～　効率的なニホンジカ管理のために　～

入場無料

日程	2018年 2月15日（木）
時間	14:00～16:00
会場	宮津市福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム（宮津市字浜町3012番地　宮津阪急ビル（ミップル）４階）
主催	（株）野生動物保護管理事務所・（一社）日本森林技術協会

当日の内容	
	・宮津市におけるシカの行動把握調査　・植生被害状況 ・シカ対策の効率化に向けた情報活用　・質疑応答

申込・問合せ：（一社）日本森林技術協会

TEL 03-3261-6349

FAX 03-3261-3044

MAIL shikajyoho@jafta.or.jp

林野庁業務　シカによる森林被害緊急対策事業　（シカの行動把握調査等及び捕獲者等支援業務）

本事業では8地域（埼玉・山梨・岐阜・三重・滋賀・京都・福岡・鹿児島）において、ニホンジカにGPS首輪を装着しシカの移動状況の把握を行なっております。
以下の手順により、データの閲覧ができますので、ぜひ御覧ください。
なお、情報提供会ではこれらのデータを解析し、詳細をご報告させて頂きます。

◆シカ行動データの閲覧の手順◆

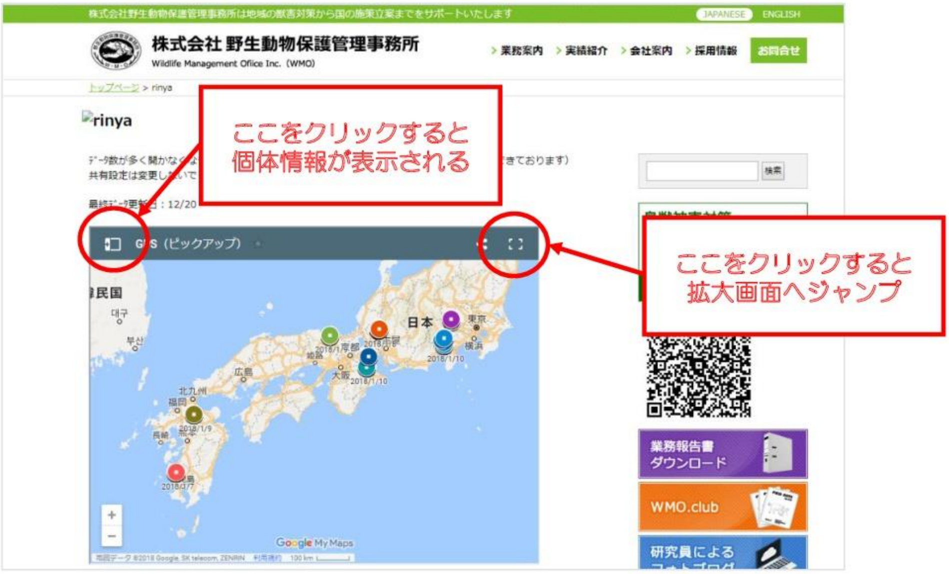
①以下のURLをインターネット上で検索すると、弊社（野生動物保護管理事務所）のホームページに飛び、パスワードの入力を求められます。

URL　http://wmo.co.jp/rinyasika

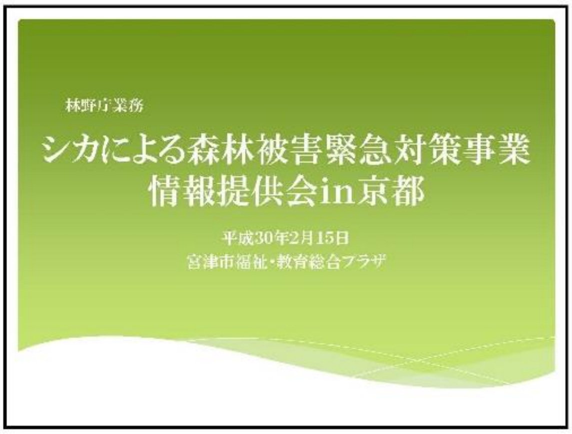
②以下のパスワードを入力し、確定ボタンをクリックします。

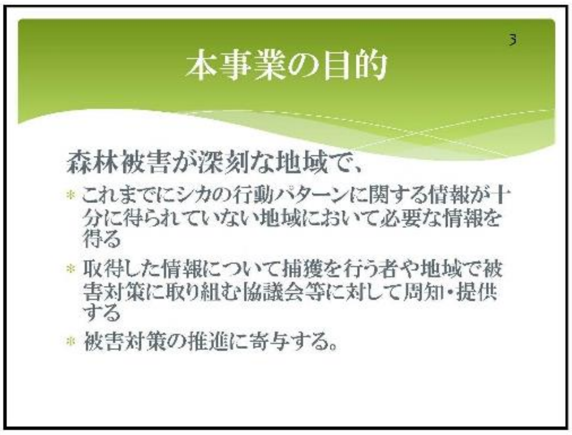
パスワード　：　rinya2017w

③以下の画面が表示されます。



巻末資料２　情報提供会発表スライド



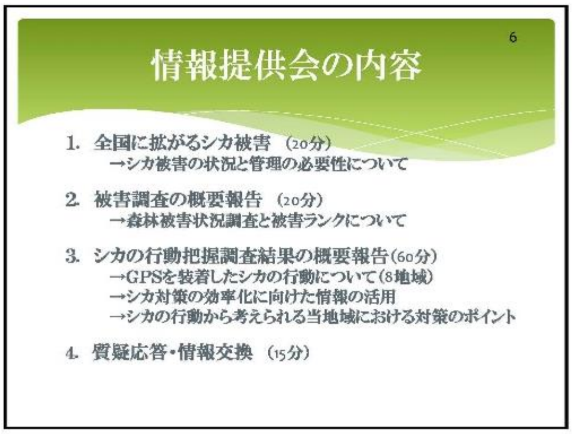


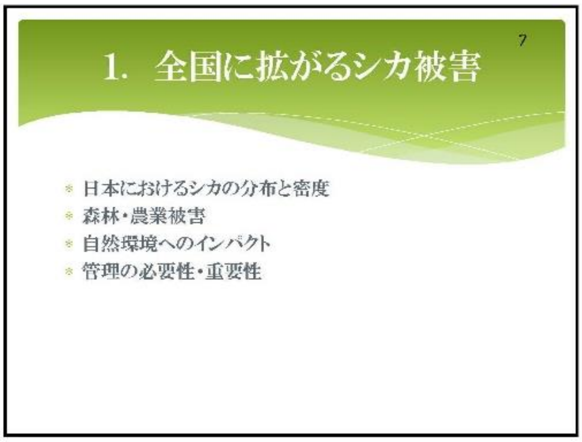
対象地域

地域	都道府県名	森林計画区
1	埼玉県	埼玉森林計画区
2	山梨県	山梨東部森林計画区
3	岐阜県	揖斐川森林計画区
4	三重県	北伊勢森林計画区
5	滋賀県	湖南森林計画区
6	京都府	由良川森林計画区
7	福岡県	遠賀川森林計画区
8	鹿児島県	北薩森林計画区

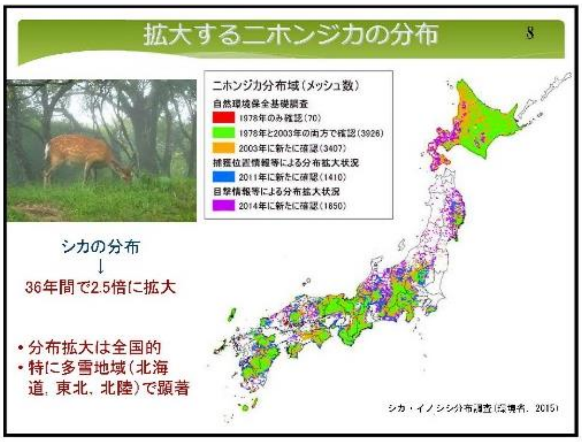
事業項目

項目名	内　容
シカ被害地の調査	行動パターンがある程度把握できた後に、シカの行動範囲における主な森林被害地を調査する。
シカの行動把握調査	上記8地域において、各1頭シカを捕獲しGPSを装着のうえ放獣。その行動パターンをGPS情報をもとに整理し、図示による可視化を行う。
情報提供会の開催	「シカ被害地の調査」及び「シカの行動範囲調査」を取りまとめ、シカ捕獲者及び協議会等を参集したうえで情報提供会を開催する。



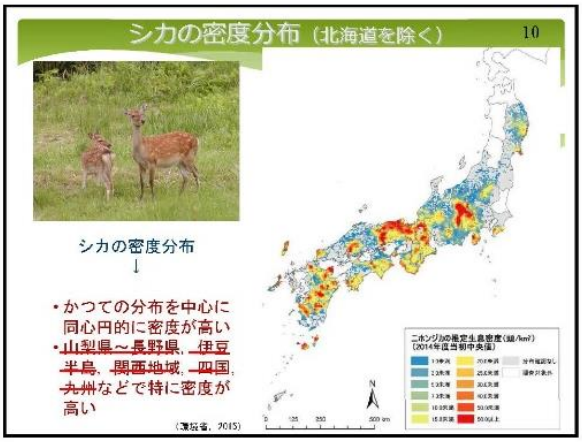


1.　全国に拡がるシカ被害
7
日本におけるシカの分布と密度
森林・農業被害
自然環境へのインパクト
管理の必要性・重要性



拡大するニホンジカの分布
8
ニホンジカ分布域（メッシュ数）
自然環境保全基礎調査
1978年のみ確認（70）
1978年と2003年の両方で確認（3926）
2003年に新たに確認（3407）
捕獲位置情報等による分布拡大状況
2011年に新たに確認（1410）
目撃情報等による分布拡大状況
2014年に新たに確認（1850）
シカの分布
↓
36年間で2.5倍に拡大
・分布拡大は全国的
・特に多雪地域（北海道，東北，北陸）で顕著
シカ・イノシシ分布調査（環境省，2015）

拡大するニホンジカの分布
9
分布メッシュ数
12, 000
10, 000
8, 000
6, 000
4, 000
2, 000
0
3, 996
7, 333
8, 743
10, 393
1978
2003
2011
2014
年度
36年間で2. 5倍，11年間で1. 4倍に拡大



シカの密度分布（北海道を除く）
10
シカの密度分布
↓
・かつての分布を中心に同心円的に密度が高い
・山梨県～長野県，伊豆半島，関西地域，四国，九州などで特に密度が高い
ニホンジカの推定生息密度（頭/km²）
（2014年度当初中央値）
（環境省，2015）

野生鳥獣による森林被害面積の推移
11
（千ha）
サル
ノネズミ
ノウサギ
イノシシ
クマ
カモシカ
シカ
シカの占める割合（右軸）
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
S57 S62 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28
（年度）

林業被害
12
枝葉食害
角とぎ，樹皮食い被害

獣類による農業被害（金額）の推移
13
（百万円）
20,000
18,000
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
被害金額
H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26
年度
その他獣類
シカ
サル
イノシシ
クマ

シカの自然植生への影響
14
（植生学会企画委員会 2011.3.1）
植生への影響程度
なし
軽
中
強
激
シカの分布確認年代
1978年と2003年
1978年のみ
2003年のみ
シカ高密度地域でシカの採食圧による強い影響が発生
生物多様性保全への大きな影響
N

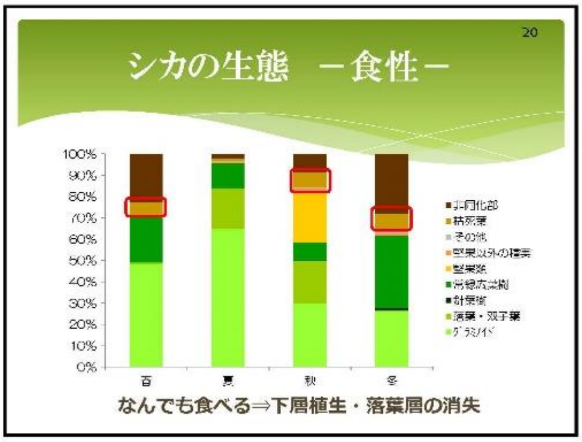
シカによる生物多様性への影響
15
－自然植生への影響が問題となっている自然公園など－
21の主要な自然公園指定地域においてシカによる深刻な影響が発生
生物多様性保全への大きな影響

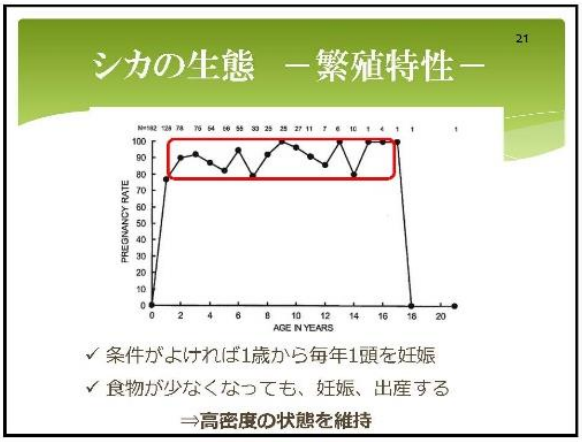
シカの自然植生への影響
16
南アルプス
南アルプス
高山・亜高山帯の希少植物群落の退行

シカの自然植生への影響
17
剣山
富士山北麓
樹皮食い・林床植生の退行

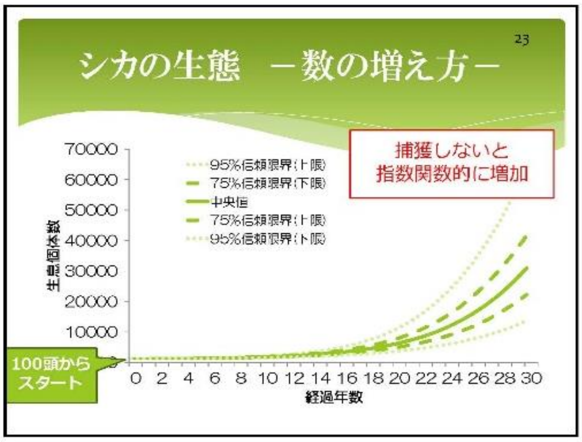
シカの自然植生への影響
18
滋賀県高島市
ブラウジングラインの形成

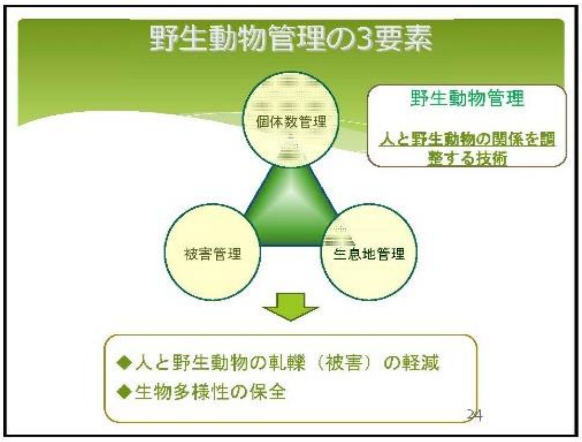
シカの自然植生への影響
19
大杉谷国有林
大台ヶ原正木ヶ原
森林の衰退・乾燥化・土壌の流出・斜面崩壊
水源環境・国土保全上の問題

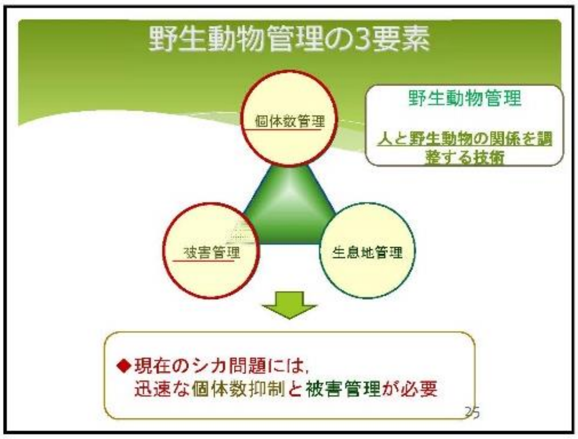

20
シカの生態　－食性－
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
春
夏
秋
冬
なんでも食べる⇒下層植生・落葉層の消失


21
シカの生態　－繁殖特性－
PREGNANCY RATE
AGE IN YEARS
✓ 条件がよければ1歳から毎年1頭を妊娠
✓ 食物が少なくなっても、妊娠、出産する
⇒高密度の状態を維持

全国のシカ推定個体数（北海道を除く）
22
階層ベイズモデルによる推定
456万頭
352万頭
304万頭（中央値）
266万頭
224万頭
45万頭
（2015年度捕獲数）
北海道：約49～55万頭
2000年度末の推定個体数：約100万頭
2015年度末の推定個体数：約304万頭
（環境省，2017）


23
シカの生態　－数の増え方－
捕獲しないと
指数関数的に増加
95%信頼限界(上限)
75%信頼限界(下限)
中央値
75%信頼限界(上限)
95%信頼限界(下限)
70000
60000
50000
40000
30000
20000
10000
生息個体数
100頭から
スタート
0 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30
経過年数


野生動物管理の3要素
個体数管理
被害管理
生息地管理
野生動物管理
人と野生動物の関係を調整する技術
◆人と野生動物の軋轢（被害）の軽減
◆生物多様性の保全
24



戦略的なシカ個体数管理のために ―課題―

27

- 捕獲適地の抽出，変化の把握
- 地形，環境と合わせた行動特性の解析
- 行動特性に応じた捕獲計画
  →捕獲適地，捕獲適期，捕獲時間帯，捕獲手法等の検討
- 管理施策（捕獲・被害防除）に対する行動変化の把握
- 広域連携の捕獲体制構築
- 専門的捕獲技術者の育成・配置

2. 被害調査の概要報告

28

- 調査地
- 特徴的な被害状況（写真）
- 被害レベル（簡易チェックシートを用いた調査）

痕跡（足跡）

痕跡（糞）

33
痕跡（足跡）

34
樹皮剥ぎ
（リョウブ・タカノツメ・
コシアブラなど）

35
角とぎ跡

36
角とぎ跡（コシアブラ）

痕跡（頭骨）

食痕（ササの矮小化、枯死）

ササの矮小化、枯死

ササの矮小化、枯死

下層植物の減少が顕著

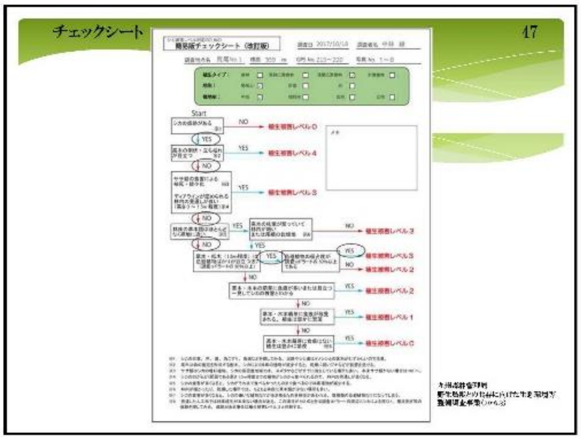
下層植物の減少が顕著

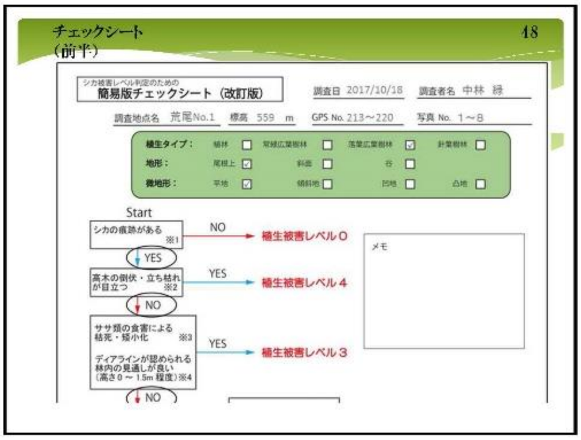
忌避植物（シロダモ）

忌避植物（アセビ）

45
忌避植物（テンナンショウ類）

46
萌芽の食痕


チェックシート
47
簡易版チェックシート（改訂版）
Start
NO
YES


チェックシート
（前半）
48
シカ被害レベル判定のための
簡易版チェックシート（改訂版）
調査日 2017/10/18
調査者名 中林 緑
調査地点名 荒尾No.1
標高 559 m
GPS No. 213～220
写真 No. 1～8
植生タイプ：
地形：
微地形：
Start
シカの痕跡がある ※1
NO
植生被害レベル０
YES
高木の倒伏・立ち枯れが目立つ ※2
YES
植生被害レベル４
NO
ササ類の食害による枯死・矮小化 ※3
ディアラインが認められる林内の見通しが良い（高さ０～1.5m 程度）※4
YES
植生被害レベル３
NO
メモ

チェックシート（後半） 49

※1 シカの目撃、声、糞、角こすり、食痕などを探してみる。足跡やシカ道はイノシシとの区別がむずかしいので注意。
※2 高木は森の樹冠を形成する樹木。シカにより林床の植物が減少すると、乾燥に弱いブナなどが影響を受ける。
※3 ササ類はシカの嗜好植物。シカの高密度地域では、スズタケなどがすでに消失している場所も多い。本来ササ類がない場合は NO へ。
※4 シカの口がとどく範囲である高さ1.5m程度までの植物がシカから食べられるので、林内の見通しが良くなる。
※5 シカの食害が多くなると、シカがそれまで食べなかったものまで食べるので林床植物が減少する。
※6 林内が暗かったり、乾燥した場所では、もともと林床に草本類が少ない場所も多い。
※7 シカの食害が多くなると、シカの嫌いな植物だけが生き残るため多様性が失われる。数種類の忌避植物だけになってしまう。
※8 発達した人工林では林床植生が本来ない場合がある。この項目が NO のときは調査コドラートの周辺にシカによる樹くい、樹皮剥ぎ等の痕跡を探してみる。痕跡がある場合は植生被害レベル３と判断する。

被害レベル区分 50

被害レベル区分	被害レベル段階内容	森林植生の状況	特徴的な指標			
			林冠の状況	林内の状況	忌避植物の割合	備考
被害レベル0	シカによる被害がほとんどない段階	森林の階層構造、種組成ともに自然状態。		低木層、草本層にほとんど食痕が見られない。	小 ↑	
被害レベル1	シカによる被害が軽微で、森林の構造にほとんど変化はない段階	森林の階層構造、種組成ともに自然状態であるが、構成種に食痕が頻繁に認められる。		低木層、草本層に食痕が見られる。階層構造、種組成への影響は少ない。		一見被害がなさそうに見えるが、調査を行うと、被害の痕跡が見られる。
被害レベル2	シカによる被害により森林の内部構造に変化が生じている段階	森林の階層構造（特に低木層・草本層）に欠落が生じ始める。また、種組成に忌避植物の侵入・優占が始め、自然状態の種組成に変化が生じ始めている。	林冠閉鎖	低木層、草本層に食痕が見られる。階層構造、種組成に変化が生じる。		低木層、草本層の植被の減少や、特定の種（忌避植物ほか）の優占等が見られる。
被害レベル3	シカによる被害により森林の内部構造が破壊された段階	森林の階層構造（特に低木層・草本層）に欠落が生じ始める。また、低木層、草本層に忌避植物が優占し、自然状態の種組成とは異なった林分となる。		低木層、草本層に食痕が見られる。階層構造、種組成に欠落が生じる。		林床にスズタケの優占する森林では、枯死稈の存在で比較的簡単にわかる。
被害レベル4	シカによる被害により森林が破壊された段階	森林の低木層・草本層に加え、亜高木層・高木層等の林冠構成種の一部が枯死し、森林としての階層構造に欠落が生じる。また、低木層、草本層に忌避植物が優占し、自然状態の種組成とは異なった林分となる。	林冠に（シカによる）ギャップが生じる	低木層、草本層に食痕が見られる。階層構造、種組成に欠落が生じる。	↓ 大	高木層の枯死及び消失が散見される。また、被害の酷いところでは、土壌等の表土の流亡の兆候が見られる。

レベル2（5か所中3箇所）、レベル3（5か所中2箇所）

九州森林管理局
野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査報告書

3. シカの行動把握調査結果 51

(1)GPS首輪を用いた調査について
(2)GPS首輪装着の結果
(3)由良川の行動データ解析結果
(4)8地域の行動データ解析結果の比較
(5)近隣地域におけるGPS首輪調査の事例
(6)ポテンシャルマップの作成
(7)いろいろな捕獲方法
(8)戦略的な捕獲
(9)シカ対策の効率化に向けた情報の活用

(1)GPS首輪を用いた調査 52

【目的】 被害対策の推進に寄与する

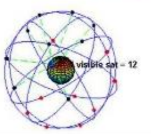
- シカの行動特性を把握し、効率的な捕獲の提案に寄与する
- シカの地域別の行動特性の情報を共有し、地域毎に適した効率的な捕獲の戦略を立てるための判断材料とする

(1)GPS首輪を用いた調査 調査方法 53

- 特徴：シカの行動特性を把握できる

【テレメトリー（telemetry）技術の変化】
・VHF地上波首輪による追跡（1960s～）：ラジオテレメトリー
・全地球測位システム（GPS）首輪による追跡（1990s～）：GPSテレメトリー

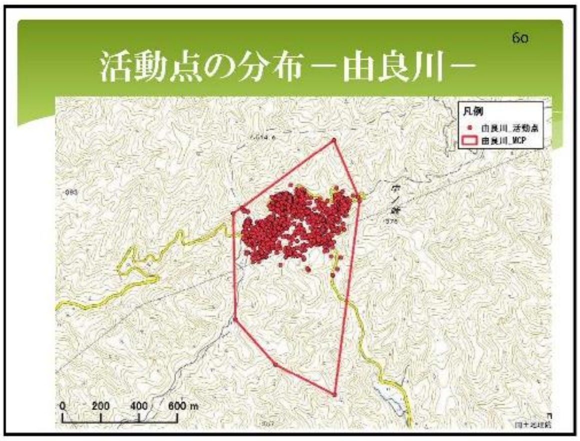
GPS衛星32個



(1)GPS首輪を用いた調査 調査方法 54

◆使用したGPS首輪
VECTRONIC Aerospace社製
Vertex Plus

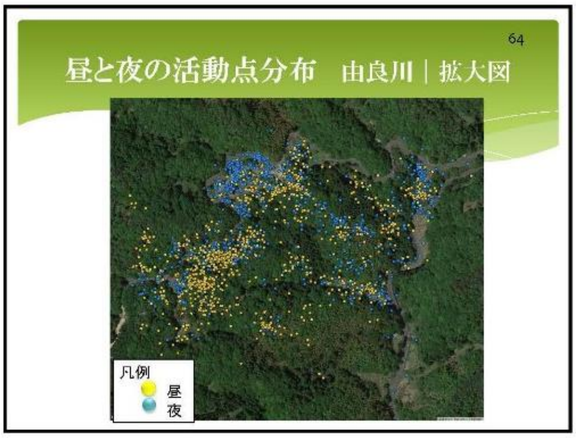
森林計画区	捕獲年月日	捕獲地点	性別	推定年齢	外部計測値							
					体重(kg)	全長(cm)	体長(cm)	体高(cm)	胸囲(cm)	胴囲(cm)	頸囲(cm)	後足長(cm)
埼玉	2017/8/9	埼玉県秩父市三峰山	メス	3<	57.0	138.0	87.0	77.0	80.0	94.0	92.5	43.0
山梨東部	2017/8/23	山梨県[illegible]	メス	亜成獣	34.0	124.8	78.8	72.2	68.5	94.8	75.4	39.9
揖斐川	2017/7/20	岐阜県本巣市根尾（有）根尾開発社有林	メス	9～10	71.0	156.6	991.0	93.0	93.0	107.7	117.7	45.7
湖南	2017/7/25	滋賀県甲賀市土山町大河原	メス	0	約45	145.2	77.4	87.4	82.5	107.3	89.3	42.3
湖南	2017/11/16	滋賀県甲賀市土山町大河原	メス	4～5	約45	133.5	84.2	77.0	92.1	99.1	102.2	41.8
北伊勢	2017/8/27	三重県津市青山高原	メス	14～15	42.0	142.8	78.5	78.1	72.3	91.2	83.0	38.4
由良川	2017/9/9	京都府与謝野町[illegible]	メス	10～15	42.0	144.5	83.9	70.0	93.2	94.5	91.0	41.5
遠賀川	2017/7/29	福岡県田川郡添田町英彦山	メス	9～10	43.0	144.5	82.7	75.0	71.6	84.5	77.9	39.3
遠賀川	2017/10/26	福岡県田川郡添田町英彦山	メス	5～6	45.0	146.0	78.0	78.5	72.7	83.3	86.1	40.0
北薩	2017/7/3	鹿児島県薩摩郡さつま町紫尾山	メス	3	30.0	112.0	66.0	67.0	60.5	84.0	63.7	36.0
北薩	2017/9/28	鹿児島県薩摩郡さつま町紫尾山	メス	3<	33.0	106.0	65.0	70.5	67.5	86.0	69.5	35.5



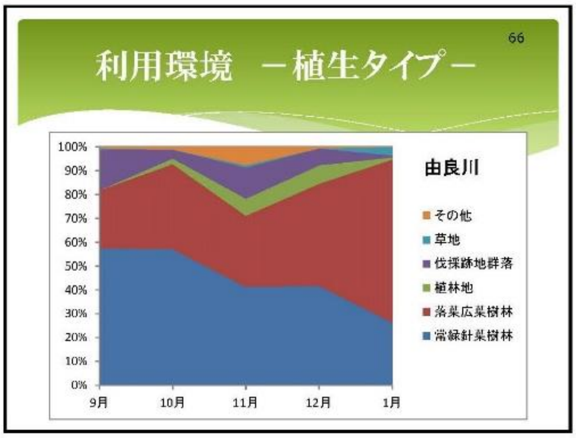
61
移動経路－由良川－
捕獲地点
Google Earth

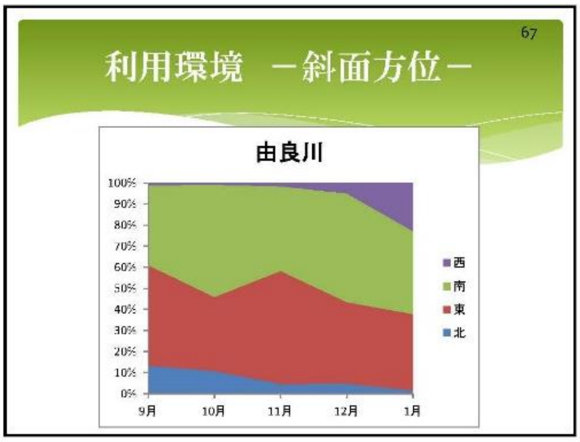
62
活動点分布　由良川｜拡大図
Google Earth

63
利用環境　由良川｜拡大図
Google Earth


64
昼と夜の活動点分布　由良川｜拡大図
凡例
昼
夜

65
1日の移動距離


66
利用環境　－植生タイプ－
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%
9月
10月
11月
12月
1月
由良川
その他
草地
伐採跡地群落
植林地
落葉広葉樹林
常緑針葉樹林



68

(3) 8地域の行動データ解析結果の比較

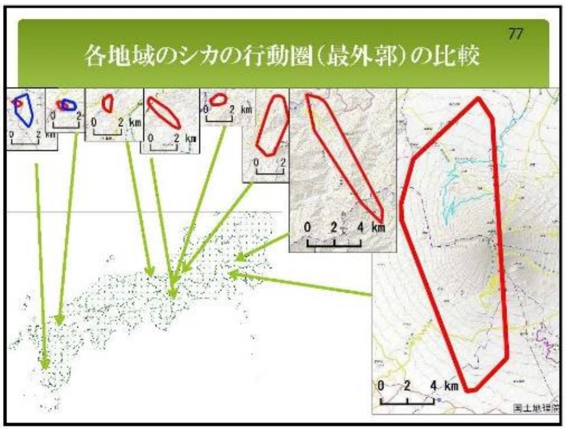
- 行動圏（最外郭）面積の比較
- 利用している標高の比較
- 利用している斜度の比較

(2)結果　～北伊勢のGPS個体～
73
軌跡データ
捕獲地点
Google Earth

(2)結果　～湖南のGPS個体～
74
軌跡データ
捕獲地点
Google Earth

(2)結果　～遠賀川のGPS個体～
75
軌跡データ
捕獲地点
捕獲地点
凡例
遠賀川１
遠賀川２
Google Earth

(2)結果　～北薩のGPS個体～
76
軌跡データ
捕獲地点
捕獲地点
凡例
北薩１
北薩２
Google Earth


各地域のシカの行動圏（最外部）の比較
77
0 2 4 km

ホームレンジとコアエリア
78
凡例
コアエリア（カーネル法50%）
ホームレンジ（カーネル法95%）
北伊勢_活動点
シカが
よく使う場所
シカが
通常使う場所
0 500 1000 1500 m
国土地理院

ホームレンジとコアエリア

79

各地域のホームレンジ面積の比較

80

期間	ホームレンジの面積（km²）（カーネル法による95%行動圏）								
	埼玉	山梨東部	揖斐川	湖南	北伊勢	由良川	遠賀川1	遠賀川2	北薩
7月	—	—	0.65	—	—	—	0.39	—	—
8月	0.58	0.86	0.77	—	0.07	—	0.20	—	—
9月	1.56	1.30	0.48	—	0.11	0.07	0.34	—	0.27
10月	0.74	1.29	0.40	—	0.12	0.15	—	0.03	0.16
11月	0.71	191.82	1.11	0.46	0.14	0.20	—	0.08	0.61
12月	12.37	0.81	9.06	0.43	0.61	0.17	—	0.27	0.30
1月	38.66	4.26	0.08	0.23	2.85	0.27	—	0.30	0.53
全期間	**3.38**	**121.12**	**3.90**	**0.36**	**0.47**	**0.18**	**0.24**	**0.23**	**0.46**

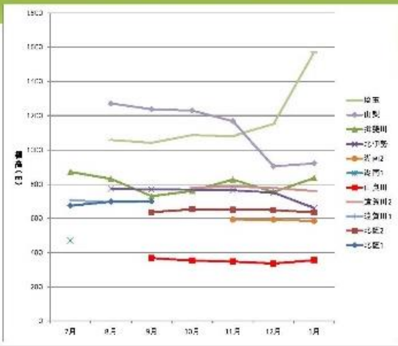
各地域のコアエリア面積の比較

81

期間	コアエリアの面積（km²）（カーネル法による50%行動圏）								
	埼玉	山梨東部	揖斐川	湖南	北伊勢	由良川	遠賀川1	遠賀川2	北薩
7月	—	—	0.19	—	—	—	0.12	—	—
8月	0.12	0.15	0.15	—	0.02	—	0.05	—	—
9月	0.37	0.27	0.07	—	0.03	0.02	0.09	—	0.06
10月	0.16	0.32	0.08	—	0.03	0.04	—	0.01	0.03
11月	0.13	29.44	0.20	0.09	0.03	0.05	—	0.01	0.10
12月	1.74	0.17	1.70	0.09	0.11	0.05	—	0.05	0.06
1月	8.55	0.74	0.02	0.05	0.11	0.06	—	0.06	0.13
全期間	**0.53**	**25.09**	**0.71**	**0.07**	**0.07**	**0.04**	**0.06**	**0.03**	**0.08**

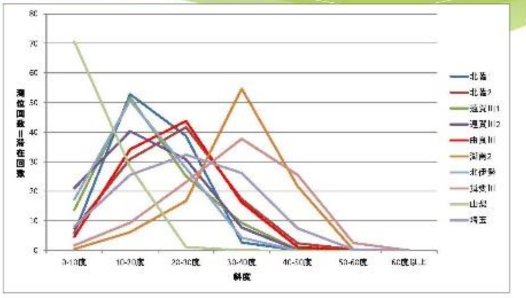
各地域の月毎の利用標高（m）

82



各地域の利用斜度の比較（度）

83



（5）近隣地域におけるGPS首輪調査の事例

84

- 伊吹山（米原市）
  ニホンジカ行動特性調査業務
  (滋賀県西部・南部地域鳥獣被害対策協議会,2013)
- 比良山系/びわ湖バレイ（大津市）
  •ニホンジカ防除対策モデル事業業務委託
  (米原市鳥獣被害防止対策協議会,2012•2013)
- 鈴鹿山系西側/低標高の里山（東近江市）
  •相谷地区ニホンザル・ニホンジカ生息状況調査業務
  (滋賀県,2009)
  •東近江市ニホンジカ保護管理事業ニホンジカGPSテレメトリー調査業務（東近江市野生動物保護管理対策協議会,2009•20

(5)近隣地域におけるGPS首輪調査の事例

85

* 伊吹山 (米原市)

個体No.	捕獲日	捕獲場所	性別	齢クラス	体重(kg)	使用したGPS
IB-01	2012/9/24	伊吹山三合目	オス	成獣	77	VECTRONIC
IB-02	2012/9/25	伊吹山三合目	メス	亜成獣	41	TELLUS
IB-03	2012/9/26	伊吹山三合目	メス	成獣	55	VECTRONIC
IB-04	2012/9/26	伊吹山山頂	メス	成獣	50	VECTRONIC
IB-05	2012/9/28	伊吹山山頂	オス	成獣	88	VECTRONIC
IB-06	2013/10/7	伊吹山山頂	メス	成獣	52	VECTRONIC
IB-07	2013/10/8	伊吹山山頂	オス	成獣	78	VECTRONIC
IB-08	2013/10/9	伊吹山山頂	オス	成獣	63	VECTRONIC
IB-09	2013/10/10	伊吹山山頂	メス	成獣	63	VECTRONIC

ニホンジカ行動特性調査業務
(滋賀県西部・南部地域鳥獣被害対策協議会,2013)

(5)近隣地域におけるGPS首輪調査の事例

86

* 比良山系/びわ湖バレイ (大津市)

個体番号	捕獲年月日	性別	齢クラス	体重(kg)	使用したGPS
OT-01	2014/7/15	メス	成獣	41	VECTRONIC
OT-02	2014/7/15	メス	成獣	44	VECTRONIC
OT-03	2014/8/13	メス	成獣	55	VECTRONIC
OT-04	2014/8/13	メス	成獣	48	VECTRONIC

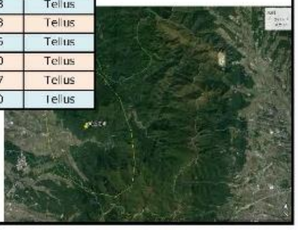
・ニホンジカ防除対策モデル事業業務委託
(米原市鳥獣被害防止対策協議会,2012・2013)

(5)近隣地域におけるGPS首輪調査の事例

87

* 鈴鹿山系西側/低標高の里山(東近江市)

個体番号	捕獲年月日	齢クラス	性別	体重(kg)	使用したGPS
HG-1	2009/1/28	成獣	メス	45	Tellus
HG-2	2009/1/29	成獣	オス	63	Tellus
HG-3	2009/8/8	成獣	メス	43	Tellus
HG-4	2009/10/4	亜成獣	オス	36	Tellus
HG-5	2010/6/12	成獣	メス	50	Tellus
HG-6	2009/12/21	成獣	メス	47	Tellus
HG-7	2011/1/15	成獣	オス	60	Tellus

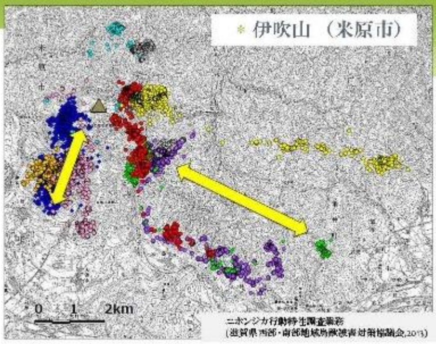


・相谷地区ニホンザル・ニホンジカ生息状況調査業務
(滋賀県,2009)
・東近江市ニホンジカ保護管理事業ニホンジカGPSテレメトリー調査業務(東近江市野生動物保護管理対策協議会,2009・2010)

(5)近隣地域におけるGPS首輪調査の事例

88

* 伊吹山 (米原市)

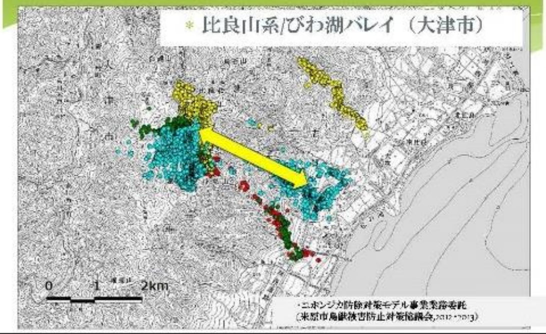


ニホンジカ行動特性調査業務
(滋賀県西部・南部地域鳥獣被害対策協議会,2013)

(5)近隣地域におけるGPS首輪調査の事例

89

* 比良山系/びわ湖バレイ (大津市)



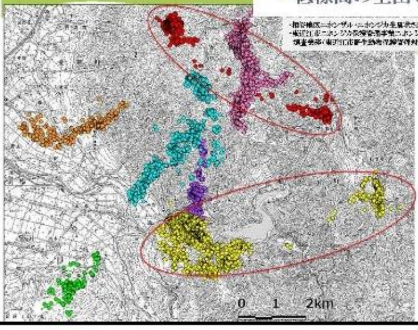
・ニホンジカ防除対策モデル事業業務委託
(米原市鳥獣被害防止対策協議会,2012・2013)

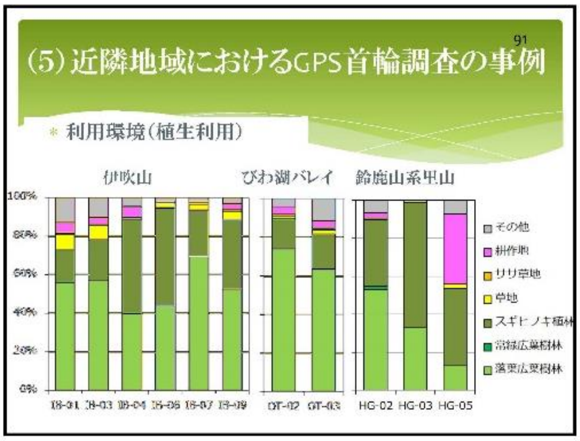
(5)近隣地域におけるGPS首輪調査の事例

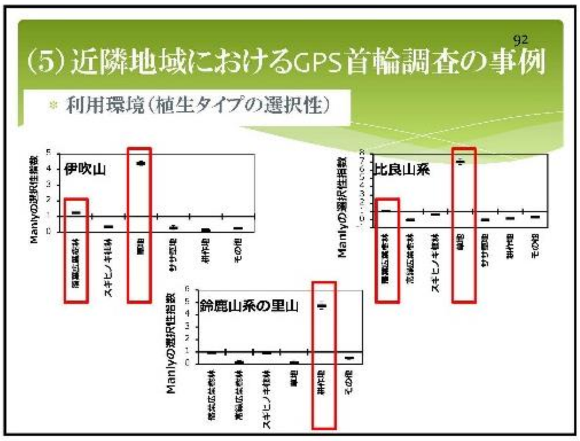
90

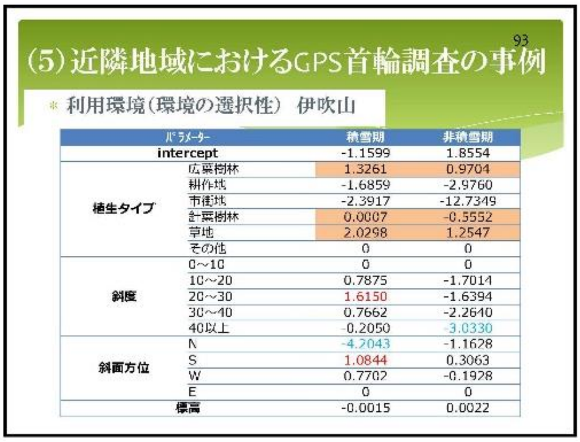
* 低標高の里山(東近江市)

・相谷地区ニホンザル・ニホンジカ生息状況調査業務(滋賀県,2009)
・東近江市ニホンジカ保護管理事業ニホンジカGPSテレメトリー調査業務(東近江市野生動物保護管理対策協議会,2009・2010)

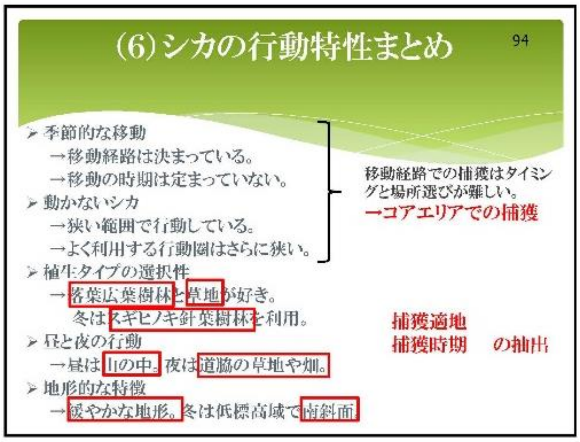


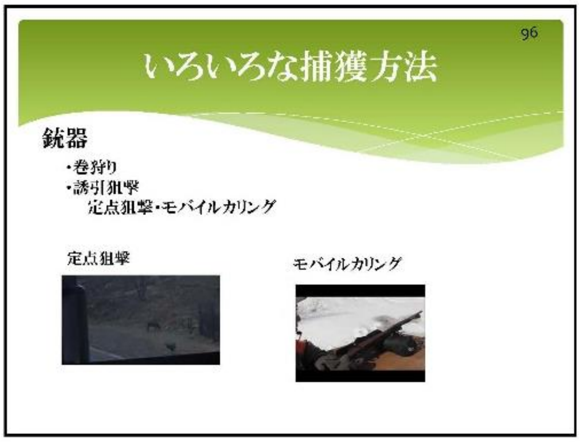




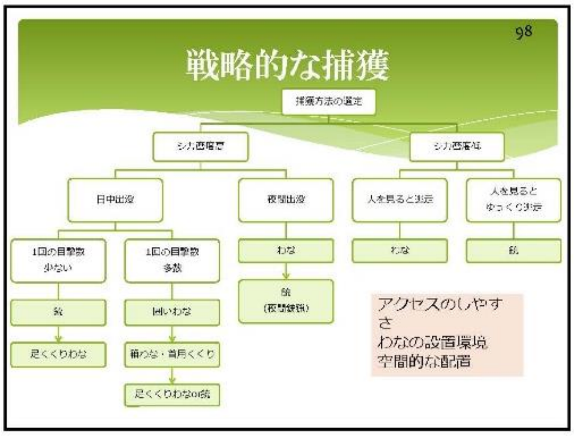


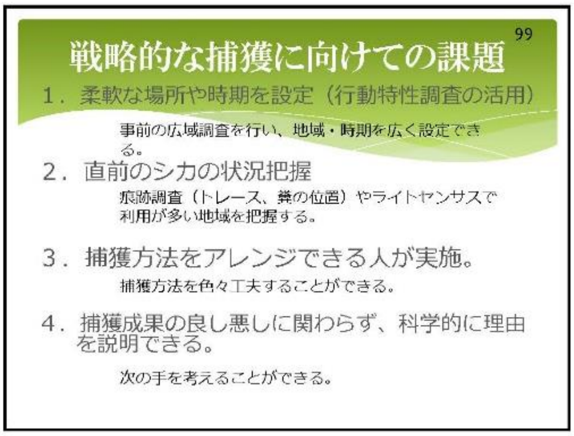
パラメーター		積雪期	非積雪期
intercept		-1.1599	1.8554
植生タイプ	広葉樹林	1.3261	0.9704
	耕作地	-1.6859	-2.9760
	市街地	-2.3917	-12.7349
	針葉樹林	0.0007	-0.5552
	草地	2.0298	1.2547
	その他	0	0
斜度	0～10	0	0
	10～20	0.7875	-1.7014
	20～30	1.6150	-1.6394
	30～40	0.7662	-2.2640
	40以上	-0.2050	-3.0330
斜面方位	N	-4.2043	-1.1628
	S	1.0844	0.3063
	W	0.7702	-0.1928
	E	0	0
標高		-0.0015	0.0022





97
いろいろな捕獲方法
わな
・箱わな
・囲いわな
・くくりわな
・首用くくりわな
足くくりわな
(獣道を変更する)
足くくりわな
(警戒して近づかない)
箱わな
(アニマルセンサー使用)
囲いわな
(かぞえもんAir使用)
三重森林管理署
首用くくりわな
(錯誤捕獲防止・メス選択捕獲)
三重森林管理署

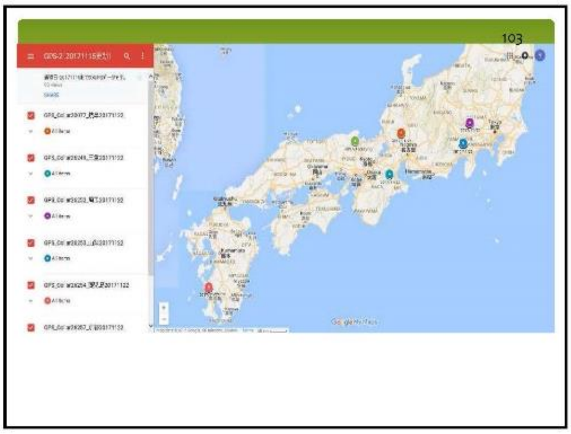

98
戦略的な捕獲
捕獲方法の選定
日中出没
夜間出没
人を見ると逃走
人を見ると
ゆっくり逃走
1回の目撃数
少ない
1回の目撃数
多数
わな
わな
銃
銃
(夜間銃猟)
銃
囲いわな
足くくりわな
箱わな・首用くくり
足くくりわなor銃
アクセスのしやすさ
わなの設置環境
空間的な配置


99
戦略的な捕獲に向けての課題
1．柔軟な場所や時期を設定（行動特性調査の活用）
事前の広域調査を行い、地域・時期を広く設定できる。
2．直前のシカの状況把握
痕跡調査（トレース、糞の位置）やライトセンサスで利用が多い地域を把握する。
3．捕獲方法をアレンジできる人が実施。
捕獲方法を色々工夫することができる。
4．捕獲成果の良し悪しに関わらず、科学的に理由を説明できる。
次の手を考えることができる。

100
(8)シカ対策の効率化に向けた情報の活用
①以下のURLをインターネット上で検索すると、弊社（㈱野生動物保護管理事務所）のホームページに飛び、パスワードの入力を求められます。
URL：http://wmo.co.jp/rinyasika
パスワード：rinya2017w
株式会社 野生動物保護管理事務所
鳥獣被害対策
コーディネーター
育成研修会

101
株式会社 野生動物保護管理事務所
鳥獣被害対策
コーディネーター
育成研修会
業務報告書
ダウンロード
WMO.club

102
株式会社 野生動物保護管理事務所
ココをクリックすると
個体情報が表示される
ココをクリックすると拡大画面へジャンプ
鳥獣被害対策
業務報告書
ダウンロード
WMO.club
Japan



104

5. 質疑応答・情報交換等

終了

ありがとうございました！

平成 28 年度シカによる森林被害緊急対策事業
（シカの行動把握調査等及び捕獲者等支援業務）
報告書（由良川森林計画区）

平成 30 年（2018 年）3 月
発注者　林野庁

受託者　「シカによる森林被害緊急対策事業
（シカの行動把握調査等及び捕獲者等支援業務）」共同企業体
株式会社　野生動物保護管理事務所
一般社団法人　日本森林技術協会